

今号の主な記事

- ◇技能功労者の表彰や勤労者美術展などを開催 ……2面
- ◇保育所4月入所の申込を受付 ……2面
- ◇「NEW LIFE PARTY 2005」 ……2面
- ◇オリジナル「桜」の愛称に投票を ……3面

市の情報化の拠点、西宮市情報センター(西宮浜産業交流会館内、右上写真)同センターでのパソコン研修、右下写真)



「心とからだの健歩マップ」ちずナビ隊

公民館等で市のホームページが閲覧できます

質の高い市民サービスの提供をめざして

情報通信技術

ITを活用したまちづくり

インターネットや電子メール、携帯電話をはじめとする携帯情報端末の普及など、近年、IT(情報通信技術)の驚異的な発達により、社会や経済のあらゆる分野で情報化が急速に進展しています。

本市の情報化の取り組みについてお知らせします。問合せは情報政策グループ(0798・35・3730)へ。

西宮市の情報化

本市の情報化の歴史は古く、県下ではトップ、全国でも最も早い時期の昭和36年12月、税務および職員の給与計算業務に始まり、時

市の総合行政情報システム

「総務大臣表彰」受賞、「e都市ランキング」で1位に

今年度、本市の総合行政情報システムが、阪神・淡路大震災の際に被災者支援システムを整備するなど、職員の手作りによる情報システムが、他の地方公共団体の模範となり情報通信に多大な貢献をしたとして「総務大臣表彰」を受賞しました。また、日経BP社「e都市ランキング2005」において、積極的に多方面で情報化を進めているとして、5分野すべてで高い評価を得て、全国2091市区町村のトップになりました。

代の変化と共に拡充してきました。現在の「西宮市総合行政情報システム」は、全国屈指のレベルに発展を遂げています。

平成7年の阪神・淡路大震災の折には、被災者支援システムの構築やGIS(地理情報システム)を活用した仮設住宅地図の提供など震災支援に絶大な効果を上げることができました。

最近では、市民の健康づくりをするためのウォーキングルートの経路探索やパリアフリーマップなどの検索ができる「心とからだの健歩マップ」ちずナビ隊をはじめとするWebGISを活用したシステムが、本市情報システムの特徴になっています。

また、15年度には総務省の「地域公共ネットワーク

「基礎整備事業」により、市役所本庁舎と西宮市情報センターを拠点として、支所・市民サービスセンター、学校、公民館など192カ所の公共施設を光ファイバーで接続する高速インターネット環境が整備されました。

これにより、学校でのインターネットを活用した学習環境が飛躍的に改善され、学習情報システム「EDUINET」や家庭のパソコンから漢字練習ができる「WEB学習システム」など学習支援システムが構築されました。また地域では、公民館などにタッチパネル式情報端末「情報見聞録」を設置し、市のホームページの閲覧やスポーツ施設の予約ができるようになりました。今後はさらに行政情報サービスを拡充していきます。

ご利用ください！市のホームページ

市が進める「市民と手を携えて進めるまちづくり」を実現するためには、市政情報を市民の皆さんに早く提供し、共有しあうことが重要です。

「いつでも、どこでも、誰でも」情報を入手できる水

市長からのメッセージ



西宮市長 山田 知

現在、本市の財政は非常に厳しい状況にありますが、それを克服して市民サービスの維持・向上に努めています。

このためには、費用対効果に考慮して、情報通信技

術を活用した業務の簡素化・効率化、市民との双方向のコミュニケーションを可能にする情報ネットワークの強化を図ることは、これからの行政において欠かすことのできない取り組みであると認識しております。

今年度は、私が第一期就任当時から進めている「電子自治体の推進」の一環でもある、電子申請・電子入札のシステム運用に向けた

取り組みを進めるとともに、図書検索や予約ができる図書館システムの開発を行い、市民の皆さんが使いやすい便利なサービスの提供をめざしています。

今後は、「心かよつ開かれた電子自治体」の実現とともに、関係企業の誘致を図るなど、本市の特性を生かし、産業の振興にも一層努めてまいります。

「住み続けたい」住民満足度100%の電子自治体の実現に向けて、ユニバーサルな情報化をめざします。

今後は、電子申請や施設の利用申込など、より生活を便利にする「使える」機能を充実させ、「魅力ある」

21世紀における本市が、豊かで活力のあるまちとしてさらなる発展を遂げるために、質の高い市民サービスの提供や業務処理の見直しを行い、より健全な行政運営を維持できるように、具体的な課題に取り組んでいます。

インターネットは、双方向型の新しいコミュニケーション手段として、なくてはならないものになりつつあります。しかし、悪意のあるホームページ、個人情報流出、常に新たな手口で仕掛けられるコンピューターウイルスなど、インターネットを利用するうえで様々な危険もあります。だからこそ、正しい知識と対策によって、安心して便利なインターネットを活用することが大切です。

「信頼と安心の確保 情報保護対策とインターネット」

本市は、平成15年12月に「西宮市個人情報保護条例」を全面改正し、個人の権利利益を保護し、基本的な個人情報の取り扱いについて必要な事項を定めました。

また、16年5月には、電子化された情報および情報システムの安全対策につい

さらなる発展に向けて

現在、国では、いつでもどこでも、何でも、誰でも「ネットワークを利用してサービスを受け、情報をやり取りできる」「ユビキタスネットワーク社会」へと発展させていくことをめざしています。

本市においても、国の動きに合わせた情報化施策を推進し、市民の皆さんの情報の共有化や意思決定の迅速化を図ることによる市民サービスの向上、産業振興や地域コミュニティの活性化などを進めています。

上甲子園市民サービスセンター 仮設庁舎のお知らせ

上甲子園市民サービスセンター(0798・67・7080)は、御代開公園内の仮設庁舎に移転しています(下地図参照)。なお、仮設庁舎には駐車場がありません

